

2025 年 6 月 26 日

2025 年 3 月期取締役会の実効性評価結果の概要

ドリームベッド株式会社
取締役会

1. 取締役会実効性評価の目的

当社は、企業経営を継続していく上で、コーポレート・ガバナンスの充実が重要であると認識しており、企業理念（基本理念及び経営方針）を実践して企業価値を高めるとともに、健全な経営管理体制の下で、適時・適正な情報開示により、企業経営の透明性を確保することによって、コンプライアンス経営を積極的に推進してまいります。

このような基本的な考えの下、取締役会の現状を正しく認識のうえ評価することで、取締役会の機能向上を図ることを目的とするものです。

2. 評価方法

取締役及び監査役合計 9 名全員へ次の内容にて記名式アンケートを実施し、自由コメント欄を設けて、2025 年 3 月期の 1 年間を評価対象期間として、取締役会に対してそれぞれ評価意見を聴取しました。

■アンケート内容

- ・取締役会の運営について
- ・取締役会の監督について
- ・取締役会事務局の対応について

25 問+自由記入欄 3 問で実施。

3. 評価結果

当社の取締役会は、その果たすべき実効性を十分に発揮していると評価します。

- ・決議事項に対して、出席取締役及び監査役において疑問点を残すことなく納得いくまで議論を重ねており、最終取締役において合理的判断がなされ、ガバナンス上その判断の公正性を監査役において監視できている。
- ・報告事項における社内各担当取締役からの報告に対して、社外取締役及び社外監査役より質問、助言を受ける形で、出席取締役及び監査役による自由闊達な議論がなされることで、取締役会として社内各担当取締役の業務監督に寄与している。

4. 課題(2025 年 3 月期課題の対応状況)

当社取締役会は、2025 年 3 月期の 1 年間を評価対象期間とした、前期アンケートから課題として捉えた次の項目に対して、それぞれ対応いたしました。

課題	対応案	対応結果
長期戦略（ビジネスチャンス、イノベーション戦略など）に対して、さらに議論を深める。	現取締役会においては、月次統制及び四半期見通しに基づき議論しておりますが、中長期的戦略としてのビジネスチャンスやイノベーション戦略などについて、取締役会や意見交換会の議題に織り込んで、さらに議論の機会を増やす。	このたび新たなブランドとして KingKoil 社との提携に関して、取締役会において議論してきました。
新技術、新商品に対して、さらに情報共有し議論を深める。	上記同様に、業務執行取締役よりの月次報告において既に新商品関連は共有されているが、長期的視野をもつての新技術、新商品について、取締役会や意見交換会の議題に織り込んで、さらに議論の機会を増やす。	上記のとおり議論のうえ新商品に関して共有を図っているが、新技術に関しての議論に対して、不足な面があったことが課題である。

5. 課題(2026年3月期)

当社の取締役会は、上記2. 評価方法におけるアンケートの分析結果を踏まえ、次の項目を課題として捉え、その改善に向け取り組んでまいります。

課題	対応案
経営戦略に基づいた組織、人事戦略について、さらに議論を深める。	広島県人的資本経営研究会や人事組織委員会を通じて議論した内容、さらに人事制度の見直しについて、今期は定期に取締役会、または意見交換会にて、今後当社が対応すべき人事組織戦略に関して協議し、それを社内業務に落とし込んで進捗を監督する。
当社の将来ビジョンやあるべき姿について、さらに議論を深める。	来期から始まる次期中期経営計画策定において、中期経営計画検討委員会を立上げ、そこで議論した内容を定期に取締役会、または意見交換会にて協議し出された意見を、同委員会の検討に反映し、その進捗を監督する。

以上